

キリスト教とは そもそもどのような宗教なのか

— 文化との関連から —



講師 **打樋 啓史**
社会学部教授・宗教主事

キリスト教は長い年月のなかで全世界に広がり、人類の歴史に多大な影響を及ぼしてきました。日本の場合、キリスト教徒は少数ですが、思想や文化の面で与えてきた影響はきわめて大きなものです。しかし、「キリスト教とはそもそもどういう宗教なのか」というごく基本的なことについて、日本では今もなおあまりよく理解されていません。本講座では、前半にそのような基本的なことについて、文化と関連させながらお話しし、後半には聖書の人間観に注目していきます。

場所 関西学院大学西宮北口キャンパス
(阪急西宮ガーデンズゲート館 8階)

時間 11:20 ~ 12:50

**参加費無料
申込不要**

【4回シリーズ】

第1回 ▶ 4月12日(金)
キリスト教の多様性とその中心

第2回 ▶ 5月10日(金)
聖書という書物
— 絵画、建築、映画など文化への影響

第3回 ▶ 6月 7日(金)
聖書の人間観①
— 創世記「エデンの園の物語」から

第4回 ▶ 7月 5日(金)
聖書の人間観②
— イエスの「山上の説教」から

※同じ日程・場所で、10時35分~11時5分に礼拝を実施しておりますので是非ご参加ください。
なおキリスト教講座から参加いただく場合は、11時5分から入場をお願いします。待合室はございませんので予めご了承ください。

